令和８年度 第２回常務理事会 議事録

- **日時:** 令和８年９月１２日（土） １３時２０分～１６時２０分
- **会場:** 鴻巣市文化センター「クレアこうのす」３階中会議室（埼玉県鴻巣市）
- **出席者：２５名（敬称略）**

常務理事: 磯谷理事長、平澤・関・松本・飯嶋・河村（副理事長）
清宮（総務企画)、竹谷（財務)、三浦（競技)、岡野（審判)、矢口（記録）
舘岡（広報)、武井（男子)、浅賀（女子)、中澤（シニア)、
木持（高体連)、森田（中体連）
黒須、内藤、関口、高橋、岡田（支部事務局長）
上島（県事務局長・書記）

オブザーバー：小池（放送)、畝森（普及）

- **欠席者：４名（敬称略）**

常務理事：菅原（会長)、山野邉（副理事長)、石倉（小学生)、増淵（大学連）

- **配布資料:**

---

1. 第２回常務理事会 資料
2. 別紙 1_令和９年度競技計画（案）
3. 別紙 2_普及委員会提案資料
4. 別紙 3_令和８年度納会のご案内
5. 県ソ協役員用ウェア注文書

会議概要

組織運営における透明性の確保と意思決定の正当性を裏付ける手続きは、当協会のガバナンスにおける最重要事項である。本会議は、理事長・副理事長及び５支部事務局長に加えて業務執行を行っている各専門委員長に参加いただき、事業計画の進捗を厳密に把握し、次年度に向けた構造改革の指針を共有するための枢要な場として位置づけられる。

冒頭、事務局より出席者及び配布資料の確認を行い午後１時２０分開会が宣言された。

挨拶

磯谷理事長より、公務（9 月定例議会）のため欠席となった菅原会長のメッセージを代読。各種大会の運営に尽力する役員への謝辞とともに、当初の事業計画を完遂すべく組織一丸となった協力体制を維持し、次年度に向けた建設的な議論を求める旨が述べられた。

オブザーバー出席者紹介

小池放送委員長並びに畝森普及委員長に今回出席いただいており、それぞれ自己紹介を行っていただいた。

１．報告事項

磯谷理事長より、千葉県で８月に開催された国民スポーツ大会関東ブロック大会結果について報告がなされた。どの種別も第一代表獲得できる実力がありながら、雨による中断で流れをつかむのが大変であったが、劣勢であった少年女子が逆に中断を境に息を吹き返して花咲徳栄・星野の「2 枚看板」と称される強力な投手陣が期待通りの投球を見せ、第１代表として本戦進出を決定。強化策の結実が高く評価された。各カテゴリーにおいて、本県の強化策の成果と課題が浮き彫りとなった。また、青森で開催の本大会組合せについても報告がなされた。

次に、県南松本支部長より JD 朝霞ラウンドの決算報告がなされ、残金について慣例に従い県、支部、開催市で３等分することについて承認された。

2. 協議事項

１）令和９年度競技計画（案）

三浦競技委員長より、令和９年度の以下５点と合わせて具体的競技計画案について提案がなされ、各支部に持ち帰り１１月末までに県に回答することを確認、**承認**された。

①大会数の統合、廃止、増により大会名の整理と並び替え

②フリー大会の意味と意向調査実施・・要項と合わせて意向調査票を各支部に送付

③大会参加申込締切日の統一・・代表者会議 10 日前

④競技種別の試合時間一部変更・・決勝のみオフィシャルルール、サスペンデッド適用

⑤チーム登録のルール化

＜ペンディング事項＞

・全国健康福祉祭ねんりんピック全国大会開催可否を早急に確認する

・関東大学選手権（関東インカレ）男子開催日程について大学側に確認する。

２）埼玉県登録及び指導者資格の義務化

事務局より、以下５点の提案がなされた。

① 日ソ協未登録チームが県大会出場する際は埼玉県登録を義務化する⇒**承認**

② 埼玉県登録のみのチームについて DB 化検討⇒シクミネット導入前に使用していた Excel 版を活用する⇒**承認**

③ 埼玉県大会の参加申込期限⇒前項記載の通り代表者会議１０日前とする⇒**承認**

④ 県大会における資格保有者の義務化⇒テキスト配布等について**継続審議**

⑤ 試合当日の資格保有者不在時の猶予措置⇒常習チームに対し会長名で注意等**継続審議**

3.）国スポ選考基準の明確化

事務局より、選考過程の透明化は、日本スポーツ庁によるガバナンスコードへの対応（現在1,000 点満点中 500 点未満という厳しい評価）を改善し、行政および中央競技団体からの社会的信頼を回復するために不可欠であり、選考基準の明文化による透明性を確保し、ソフトボールを国スポ正式種目として継続するためにも監督及び選手選考基準を明確にする必要があることから新たに基準案を作成した旨の説明がなされた。

監督選考にあたりポイント制を導入、クラブ選手権や総合選手権の結果を数値化(1位3点、2位2点、3位1点）し、客観的実績に基づき選出する。

選手選考については理事長を委員長とし、各専門委員長、監督、事務局で構成。第三者的視点を介在させることで、不透明な選考を排除し、選手のモチベーションを最大化させる。

ふるさと選手の戦略的活用については、県外流出している有力選手（本県小中高卒業生）をリストアップし、所属先監督との承認プロセスを体系化し、県外リソースとの連携により、代表チームの競技力を再構築する等の提案がなされた。

少年男女については概ね問題ないが、成年男女については関係各位との意見交換を重ねて引き続きブラッシュアップすることとなった。

4）その他協議事項

事務局より、以下 4 点について

① 全日本大会への補充参加時のルール化について⇒**承認**

② 大会要項、結果の県ソ協 HP 掲載する際の手順について⇒**承認**

③ 令和 9 年度の小学生種別個人登録料見送りについて⇒**承認**

④ 日ソ協提出書類（リーグ審判推薦、終身審判員・記録員、支部功労賞）⇒**合意**

5）委員会報告

① 女子委員会

浅賀委員長より県予選会及び埼玉県大会の代理抽選会について以下の提案がなされた

・全日本レディース：前年度 1 位と 2 位をシード、残りはフリーで抽選実施

・全日本エルダー：所属支部関係なくフリーで抽選実施

・全日本エルデスト：所属支部関係なくフリーで抽選実施

・埼玉県大会；全種別とも初戦は同一支部同志の対戦を避ける

② 小学生委員会

石倉委員長欠席のため事務局より以下の報告がなされた。

・各種予選会、関東大家結果報告

・秋季小学生選抜大会に関する確認、依頼事項

⇒要項は男女とも未だに届いていない

⇒学校に対する依頼文書は、本会主催ではないので主催者（日ソ協）に確認

・令和９年度競技計画についての確認事項⇒競技委員長報告の通り

③ 普及委員会

畝森委員長より以下３点の提案がなされ、原案通り承認された。

・普及に関わるアンケート実施（県ソ協役員、登録チーム指導者、所属選手）

・県ソ協主催「ソフトボールクリニック 2026（仮称）」開催について

・県ソ協公式 SNS 開設について

情報の蓄積を目的とする「ホームページ」と、速報性と拡散性を有する「SNS（Instagram）」を戦略的に使い分け、デジタル変革（DX）を推進してききたいとの意見がだされた

６）令和８年度納会について

県西支部の関支部長より令和８年度納会開催について案内がなされた。

１１月２８日までに支部単位で出席者を取り纏め、県西内藤事務局長宛申し込む。

７）県ソ協役員用ウェア斡旋販売について

事務局より、今年度役員改選が行われ新役員様向けウェア斡旋販売の紹介がなされた。

希望者は９月末日までに必要事項記入のうえ県事務局宛に申込書を送付する。

３．その他

事務局より、今後の予定について以下の報告がなされた。

第三回常務理事会：令和８年１２月１２日（土）１０時～（埼玉医科大研修センター）

第四回常務理事会：令和９年　1月１６日（土）９時３０分～（会場未定）

第五回常務理事会：令和９年　２月２０日（土）９時３０分～（会場未定）

４．閉会挨拶

県西支部関支部長より、「ソフトボールに関わって今年ほど天候不良と天気予報が当たらないのは初めてで、外で行うスポーツは天気が一番。来週の関東大会を控えており毎日ヤキモキしております。本日は朝から長時間に渡りお疲れ様でした。気を付けてお帰り願います」との締めの挨拶がなされ、第二回常務理事会が閉じられた。

以上